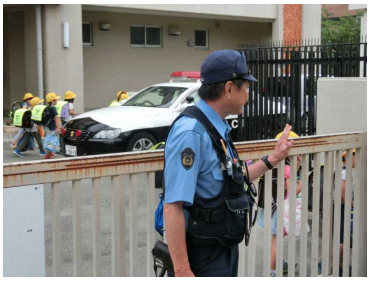
舞鶴小学校 学校だより	友の手を引く	２０１９年度 ６月１８日 文責 校長　渡邉　豪

※学校だよりのタイトル『友の手を引く』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。

業前体育　はじまりました

６月７日より令和元年の『業前体育』がスタートしました。業前体育の目的は，①体育の授業以外の時間に運動する習慣をもたせることで，より一層の体力向上を図る。②目標をもって運動し，練習の積み重ねにより技能が向上する喜びを味わわせる。という２つがあります。現在はリズムなわとびに取り組んでいますが，初めて業前体育の取り組みを見たとき，子どもたちがなわとびが上手で驚きました。リズムなわとび自体は久しぶりだったはずですが，練習の積み重ねというのは成果につながる，ということを改めて実感しました。特に上級生は，無駄な動きがなく余裕をもって跳んでいました。一定の時間跳びを続けるのですから，体力も向上すると思います。冬季には，大縄跳びの練習に取り組みます。声を掛け合いながら，できるだけたくさん跳べるように心を一つにして取り組んでくれることと，今から楽しみにしています。

子どもたちの安心安全のために



川崎の児童ら殺傷事件の２日後から，『甲府警察署甲府駅前交番』の警察官の方たちが，登下校時に西門と南門に１人ずつ立ち，子どもたちを見守ってくれています。児童玄関前にパトカーを止め，制服の警察官が２つの門に立ってくれると，防犯効果は非常に高いと思います。事件・事故等の対応で，毎日というわけにはいかない日もあるようですが，学校としては本当にありがたいことです。甲府署のパトカーも登下校時は重点的に，小学校周辺をパトロールしてくれているそうです。子どもの安全・安心を考えると，本当に心強いと感じています。

児童会あいさつ運動

５月の学校だよりでお知らせしたように，児童総会であいさつ運動についての提案が承認され，いよいよ児童主体のあいさつ運動が始まりました。第２回代表委員会で，次のような具体案が提示されました。

【基本的には，月曜日と集会のない水曜日に実施していきます。６月１０日（月）から全

校のみなさんに協力してもらいたいと思います。予定表にしたがって活動していくので，よろしくお願いします。先日の児童総会で話し合ったように，「大きな声で」「相手の目を見て」「笑顔で」あいさつができるようがんばりましょう。】

６月１０日の朝のあいさつ運動の様子です。職員だけであいさつ運動を行っているときとは，明るさとパワーが全く違いました。児童会の取り組みが定着して，舞鶴小学校の児童のあいさつに対する意識が，さらに向上することと思います。

連合音楽会で4年生発表

『甲府市小中学校連合音楽会』が６月１２日（水）に開催されました。この音楽会は，昭和２２年戦争で焼け野原となった甲府市で，子どもたちを音楽を通して勇気づけようとはじめられたそうです。７１年前から開催されている伝統ある音楽会です。

西ブロックの４小学校（舞鶴，石田，貢川，新田）が，石田小学校を会場に音楽会に参加しました。本校からは，４年生４６名が代表として参加しました。５月中旬から練習を始め，体育館から聞こえてくる歌声と合奏は，日に日にまとまり，響き合うようになり，１ヶ月後には素晴らしい合唱と合奏が完成しました。

連合音楽会当日の朝，体育館での音楽集会で全校に披露し，壮行会を行いました。練習よりは大分緊張したようですが，素晴らしい出来映えで，あとは本番でいつも通りの力を発揮できるように全校で応援しました。

本番の発表は，４校中２番目でした。緊張した面持ちで合唱台に立った４年生。まずは舞鶴小学校の紹介を行いました。しっかりした内容で，話し方も落ち着いています。これは発表が期待できると感じました。合唱「ＡＲＵＫＩ☆ＤＡＳＯＵ」と合奏「ＨＡＮＡＢＩ」を発表。無事発表が終わり，退場してくる表情からは，満足感と終わった安堵感が感じられました。とても素晴らしい発表でした。

終わりの会では，次のような講評をいただきました。

【「ＡＲＵＫＩ☆ＤＡＳＯＵ」は，〇合唱の歌い出しがとてもきれいにそろっていた。意識して練習に取り組んだ成果。〇かけ合いのところで，上手に受け渡しができていた。〇高音と低音でハーモニーを作るところがとても良かった。

「ＨＡＮＡＢＩ」は，〇リズムが難しい曲だが，きれいに演奏できていた。〇シンコペーションの部分は，難しいがとても良くできていた。打楽器が安定してリズムをとってくれていたので，みんなが演奏しやすかった。安心して聴いていられる合奏だった。】

時間をかけて努力してきたものが，実を結ぶ。こういう成功体験が，子どもたちの生きる力につながっていきます。本当に素晴らしい取り組みになりました。４年生にもう一度大きな拍手を送りたいと思います。